

タイトル	若者言葉は世界を変えられるか？
ポーランド語のタイトル	Czy młodzieżowe słownictwo może zmienić świat?
テーマ *	A
名前	パトリツィア・プシビリスカ
ポーランド語の名前	Patrycja Przybylska
学校名 * 2	ニコラウス・コペルニクス大学
学年	3年生
日本滞在歴	なし

* a. 異文化理解 b. 現代の諸問題 c. 私の大切なもの d. 私からの未来へのメッセージから選択

皆さん、日常生活でスラングを使うことがありますか。私は若者言葉をよく使います。でも、もし大人が若者のような話し方をしたらどうでしょうか。今日は、若者言葉が社会や世界に与える影響について話したいと思います。

2年前のクリスマス・パーティーのことでした。私の父がめちゃくちゃ可愛いトナカイの絵柄のセーターを着ていました。私は、「超おしゃれ!」と思って、「Slay だね〜」と笑顔でほめてあげました。

すると、父は「どうして、からかうんだ!」と不満そうな顔をしました。

悪口じゃなくて、誉め言葉だったのに、通じなかったんです。

「Slay」は英語から来た言葉です。日本語では、「すごい!」とか「最高!」のような表現です。もともと「殺す」という意味でしたが、「格好いい」という意味でも使われています。インターネットを通じてポーランドの若者の間にも広まりました。

実は、大人も若者言葉を使います。ポーランドで昨年 10 月、国会議員の選挙がありました。私は生まれて初めて投票に行きました。ある政党の候補者のポスターにこんなスローガンがありました。「このバービーは素晴らしい未来のために戦います!」「女性の権利を守ります」。そのころ、有名な「バービー」人形をテーマにしたアメリカの映画が世界で大ヒットしていました。私は子供のころ、このバービー人形がかわいくて大好きでしたから、「うまい PR だなあ」と感心しました。

多くの若者が今の政治を変えたいと思って投票に行きました。その結果、ポーランドで8年ぶりに政権が交代しました。

皆さん、若者言葉は果たして悪いものでしょうか。確かに、若者は暗号のような言葉で、秘密の世界を作って、大人に反発します。「ペンは剣よりも強し」と言われますが、若者言葉にも、もしかしたら、すごい力があるのではないのでしょうか。

私たちの世代は、生まれた時から、デジタル社会に生きています。SNS を使えば、自分のアイデアや主張を世界じゅうに発信できます。大人がその言葉にもっと耳を傾けるようになれば、もっと理解し合えるでしょう。若者と大人が力を合わせれば、素晴らしい世界を作れるはずです。

もし、新しい若者言葉を耳にしたら、注意してください。それは、社会をよくして、世界を変えるメッセージかもしれないよ。未来を担う青年を忘れないでください。

さあ、皆さん。私のスピーチを聴いて「slay だなあ」と感じましたか。ご静聴ありがとうございました。

Streszczenie (60-70 słów)

W przemowie zadaje pytanie, czy slang młodzieżowy może mieć wpływ na otaczający nas świat. Wspominam o języku, którym posługuje się moje pokolenie oraz o problemach w zrozumieniu się z osobami z innych pokoleń. Następnie wspominam o sytuacjach, w których młodzieżowe słownictwo przyczyniło się do zmian społecznych i politycznych. Kończę wnioskiem, że slang młodzieżowy może być wskazówką, pozwalającą na ulepszenie otaczającego nas świata.